



# さざなみ

## 理念

同愛記念病院は  
地域の要請をふまえ  
地区の基幹病院として  
親切で適切な医療を提供し  
社会に貢献します。

## 基本方針

私たちは、次により地区の基幹病院としての役割を果たしてまいります。

1. 地域に密着した救急医療及び「すみだ平日夜間救急こどもクリニック」を行います。
2. 医療機関、施設、医師会等との連携を推進し、地域の医療及び福祉サービスの充実と向上に貢献します。
3. 患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセントを充実させ、患者さんに寄りそった医療を行います。
4. 職員は絶えず自己研鑽を行いより高い専門性を発揮できるよう努めます。
5. 医療安全対策を強化し、信頼される医療を行います。
6. 医療を通じて社会貢献を継続するために健全な病院経営を行います。

## 血液内科についてのご紹介

同愛記念病院 血液内科 部長 鈴木謙

皆さんこんにちは。同愛記念病院に平成30年9月より赴任いたしました鈴木謙と申します。

皆さん、あまり馴染みがないかもしれませんが、血液内科では白血病、悪性リンパ腫、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍などの血液がん、さまざまな原因で生じる貧血や血小板減少など、血液疾患全般を診療しております。

検査で赤血球・白血球・血小板数の増加や減少などを指摘された場合、リンパ節などのしこりに気付いた場合、青あざが出やすい・鼻出血や歯肉の出血が止まりにくいなどの症状が出た場合、疲れやすい・息切れなどの貧血症状、発熱が持続するなどの症状の場合は、血液内科を一度受診してみてください。

実は高齢化社会を迎え、骨髄異形成症候群や多発性骨髄腫、悪性リンパ腫などの血液がんは増加傾向です。一方、血液内科の分野では新しいお薬の開発も盛んで、特に多発性骨髄腫では多くの新規薬が登場し、実際に予後が改善しています。これらの新規薬は高齢者にも使用できる場合が多く、治療の選択肢が広がっておりますので、是非前向きに取り組んでいただければと思います。

ます。

このように血液疾患の増加と新規薬の登場で、地域の皆さんにとって大学病院よりもアクセスのよい身近な病院で血液内科の専門的な治療が受けられるメリットはこれまでになく高まっています。しかしながら、大学病院以外で血液内科を標榜する病院は限られているのが現状です。特に東京の東部地域では数えるほどしかありません。当院では、平成30年9月より部長を務め



ております私、鈴木謙（血液専門医）とこれまで当科を築いてこられた田野崎栄部長（血液専門医）、水木太郎院長（血液専門医）、そして平成31年4月より東京医科大学血液内科から派遣されております、齊藤真貴子医師の4名体制で診療しております。是非身近な血液内科としてご利用いただければと存じます。

血液疾患とともに他の持病をお持ちのことも多く、診療科間・職種間の垣根が低い中規模病院のメリットを生かして、全人的なチーム医療を心がけております。リハビリテーションも充実している病院ですので、化学療法に伴う体力の低下に対し、可能な限り日常生活の活動性を保つことができよう、サポートしていきたいと考えております。外来化学療法室での通院治療も積極的に行っております。病棟では無菌室3床を備え、若年者を主体に強力な化学療法もより安全な環境で実施することが出来ます。必要な症例にはご自分の血液中の造血細胞を用いた移植（自家移植）も行っております。ご兄弟や骨髄バンクからの移植（同種移植）が必要な症例につきましては、最適な移植施設へご紹介いたします。若年者から高齢者まで地域に役立つ血液内科を目指して頑張っておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

# 麻酔科のご紹介

**鈴木愛枝** 部長：日本麻酔科学会指導医・専門医  
日本ペインクリニック学会専門医

**碓井久子** 主任：日本麻酔科学会指導医・専門医

**横島弥栄子** 日本麻酔科学会指導医・専門医  
日本緩和医療学会認定医

**伊藤朝子** 日本麻酔科学会指導医・専門医

**森田菜摘** 日本麻酔科学会認定医

年間約2600件の麻酔科管理症例を常勤医5名と非常勤医で行っています。東京大学医学部麻酔科学教室と連携し、麻酔科専門医や専門医を目指す標榜医が非常勤医として勤務しています。各曜日に麻酔科医歴15年以上キャリアのある常勤医を複数配置し、安全で患者さんに寄り添った手術麻酔を motto に日々診療を行っています。

**麻酔**と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？患者を眠らせる、痛みをとる、注射をするだけ…と思われるかもしれませんが。しかし実はそれだけではありません。手術中に発生する有害な生体反応をさまざまな手法で極力抑え、尿や出血など失った水分を適切に補い、循環・呼吸の状態を監視し、手術しやすい状況を作ります（詳細は日本麻酔科学会ホームページ<https://anesth.or.jp/>から「一般の皆様」>「麻酔科医の役割」をご覧ください）。

**麻酔科医の役割**の中で手術麻酔において最も重要なことは、患者さんの全体的な状態を主治医とは独立した立場から評価し、安全性・危険性を吟味することです。ですから、私たちの仕事は、患者さんが手術室に来るずっと前から始まってい



ます。

かの有名な孫子の一節に「彼を知り己を知れば百戦して殆うからず」という言葉があります。患者さんを知り（状態を十分評価・吟味し）、己（麻酔科医の力量・状況）を知ることがとても大切です。その上で、戦略（麻酔計画）を練り、患者さんに理解しやすいように説明し同意を得て、患者さんの安全を第一に冷静に対応することが麻酔科医には求められています。

このように麻酔科医は、手術が必要となる患者さんの周術期に深く関わり、主治医、看護師、薬剤師とともにまさに「ONE TEAM」（昨年のW杯ラグビー日本代表のスローガンですね）となって患者さんの健康回復に取り組んでいます。

現在当院では麻酔科医の働く領域は主に手術麻酔ですが、一般的にはその他にペインクリニックや緩和医療、集中治療など多岐にわたります。今後は当院でも、慢性の痛みやがん治療に伴う痛み、緩和医療などに麻酔科医が少しずつ関わっていく予定です。

「ONE TEAM」は医療従事者だけで成り立っているのではなく、患者さん自身がその中心にいます。健康回復には術前・術後にわたって患者さん本人の取り組みが重要です。例えば、禁煙や普段からの健康管理、歯周病やぐらつく歯の管理・治療が十分行われていないと、手術中だけでなく術後経過にも悪い影響を与えかねません。

私たちは「ONE TEAM」の一員として、患者さんの健康回復を全力で支援します。疑問点や不安なことがあれば、遠慮なくご相談ください。

（文責：鈴木愛枝）



ホームページアドレス <http://www.doai.jp/>

## 〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー・呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉 403床

当院では外来予約制です。

初診 / (月～金) 午前8時30分～正午 (紹介状のある方は午後3時)  
(土) 午前8時30分～午前11時

再診 / ご予約のない方：自動再来受付機にて午前8時30分～正午  
次回のご予約は診察後にお申し込みください。

休診日 / 日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

## ■交通案内

JR 総武線 両国駅(西口)から徒歩7分  
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分  
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分  
●都営バス (錦糸町～大塚駅) 石原1丁目停留所から徒歩3分



社会福祉法人 同愛記念病院財団

同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号  
TEL. 03-3625-6381 (代) FAX. 03-5608-3211

● 次回は2021年1月(第49号)発行予定になります。